

<神さまは愛です>

4:8 愛のない者に、神はわかりません。なぜなら神は愛だからです。(ヨハネの第一の手紙 4章8節)

<漢文の聖書>

私は漢文が好きでした。特別に勉強したわけでもないし、勉強が嫌いだった私がこの科目だけはいい点をとってしまっていたのでした。今でも覚えている、杜甫の詩「国破れて山河あり、城春にして草木ふかし」など、読むだけでその光景が浮かんできます。詩人の思いが伝わります。

漢文は簡潔で、まとをえているのがすごいと思うのです。その点、旧約聖書のヘブル語に通じるものがあるように思いますが、それは、当時の人の思想が、考え方が単純であったからで、ギリシャ語になってくるとどんどん論理的になり、複雑になってきます。

それなのに、長い歴史にささえられてきた中国語が、(いまだに)その単純さを維持してきているというのは驚きです。単純で簡潔で、かぎりなく観念的だけど、その内容を(それなりに)正確に伝えることができるんですね。

<神就是愛>

中国語の初歩ですが、AはBですという場合、A是Bと書くそうです。Aは是(すなわち)B、ということですね。ですから、「神は愛です」という言葉は、「神是愛」と書かれることになるわけですが、手元にある中国語の聖書を開くと、“神は愛です”というところが“神就是愛”と書かれています。

“神さまは是(これ)愛です”ではなく、そこに“就”という字がつけ加えられているんです。それで、「就是」と「是」はどう使い分けるのか？調べたのですが、中国語を勉強したことのない私には、はっきりしたことがわかりません。わからないと、どうしても知りたくなる性分なので、友人の芙美さんに連絡し、御主人のDavidさんにも確認をとったのです。

<神就是愛と神是愛はどう違うのか？>

すると、芙美さんからは、“神こそ愛です”と特定するのだと返事がきました。

Davidさんからは、“就”は、形容詞で“exact”(間違いのない、厳正な)という意味だということです。すなわち、神さまこそ愛そのものという意味になるわけです。“就”という一文字で、表現される内容に深みが出てくるんですね。

もし、誰かが“神さまって何ですか？神さまってどんな存在ですか？”って質問されたら、**神就是愛 Shen jiushi ai**(神さまは、“愛”そのものなんです)と答えればよいというわけです。

『4:16 私たちは、私たちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにいる者は神のうちにおり、神もその人のうちにおられます。』(ヨハネの第一の手紙 4章16節)

イ・ロバート



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00)

メール oriochurch@outlook.jp

URL <http://www.oriocristianchurch.net>